

議された。

栗原拓也
張居正『孟子』解釈とヨーロッパにおける受容について―「革命論」を中心として

一、筑波大学哲学・思想学会評議員の選出

○評議員の任期満了に伴い、新評議員（任期平成二十七年四月一日～平成二十九年三月三十一日）を選出した。（学会幹事を選挙管理委員とし、無記名連記、郵送投票により実施）。会員の互選により選出された評議員は次の十三名である。

- 五十嵐沙千子、井川義次、伊藤益、小野基、木村武史、桑原直己、佐久間秀範、佐藤實悦、千葉建、檜垣良成、保呂篤彦、山中弘、吉水千鶴子

（五十音順、敬称略）

二、評議員会の開催

平成二十六年四月十九日（土）、第一回評議員会が筑波大学人文・社会学系棟八階会議室において開催された。

○事務局代表に、井川義次氏、木村武史氏が委嘱された。

○平成二十六年年度の活動方針について審

議された。平成二十六年十一月十五日（土）、第二回評議員会が筑波大学総合研究棟において開催された。

○院生幹事に、小川祐輔、二川早苗、小坂有弘の各氏が委嘱された。

三、第三十五回学術大会の開催

○筑波大学哲学・思想学会第三十五回大会は、平成二十六年十一月十五日（土）筑波大学総合研究棟を会場として開催され、以下の研究発表、公開講演および総会が行われた。

〔研究発表〕

- 1 トマス・アクイナスにおける「個」の地平―「実体」と「学問の対象」という枠組みから見えるもの

石田隆太

- 2 クワインの物理主義とその評価

小川祐輔

- 3 「第四誤謬推理」論と外的知覚の客観的实在性

佐藤麻衣
我々はなぜ自然主義に惹かれるのか―『論考』期ヴェイトゲンシュタインの世界と言語の本質を巡る思考から

馬場美奈子
公共空間とハイデガールの存在論

魚谷雅広
宮沢賢治における虚構（フィクション）と「現実」

佐藤郁之
技術的経験の現象学

〔公開講演〕

東北大学教授 直江清隆

〔総会〕

・活動報告 平成二十五年度の活動報告が承認された。

○会計報告 吉田真哉幹事より、別表の通り平成二十五年度会計報告（平成二十五年四月一日～平成二十六年三月三十一日）が

なされ、承認された。

四、編集委員会の開催

『哲学・思想論叢』第三十三号の第一回編集委員会が、六月十八日（水）筑波大学人文・社会学系棟八階会議室において開催された。

○第三十一号の編集方針・日程等が検討された。

第二回編集委員会が、九月三日（金）に前回と同じ場所で開催された。

○投稿論文の審査について検討された。

○第三十五回学術大会研究発表者の選考が行われた。

○大会プログラムについて検討された。

第三回編集委員会が、十月十五日（水）に前回と同じ場所で開催された。

○投稿論文が審査された。

五、会員異動

○新入会員 内田安紀、小川祐輔、小林日花里、佐藤公陶、季平圭太郎、横山啓人

○退会会員 池上良正、金井肇（逝去）
増田裕基、村奈範通

○終身会員 河上正秀、長久保博徳

（五十音順、敬称略）
（平成二十七年二月十三日 佐藤郁之記）

『哲学・思想論叢』

第三十三号原稿募集

・原稿締切日
平成二十七年九月一日（火）
・左記論文執筆規定をご参照の上
（）寄稿下さい。

筑波大学哲学・思想学会平成25年度会計報告

（平成25年4月1日～平成26年3月31日）会計担当幹事 吉田真哉

収 入		支 出	
前年度繰越金	1,432,031	機関誌作成費	316,050
学会費	504,000	通信費	35,525
		アルバイト代	152,820
		大会開催費	103,838
		評議員会開催費	98,200
		次年度繰越金	1,229,598
計	2,246,625	計	2,246,625